



令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

居宅介護支援事業所

大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所

令和3年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>感染症予防対策を講じるとともに利用者ごとに異なる身体や病状、生活、家族状況を踏まえつつ、意向に副ったケアマネジメントを行うことで、一人ひとりに応じた自律と生活意欲の向上を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>意向に加え、抱えている課題と置かれている立場や環境が利用者ごとに異なることを十分に理解している中、一人ひとりが望む生活が継続できるように個別性を大切にした支援に取り組みたいため。 コロナウイルスに罹患した利用者への対応に加え、PCR検査や感染者発生から営業を休止した居宅サービス事業所などコロナウイルスに関する対応に利用者や家族が不安を抱き、困惑していたことを踏まえ、的確な対応が行える体制作りを努めたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアマネジメントの質の向上を目指し、アセスメントの視点を養うため、事業所内外での事例検討の機会を多く作る。 2. 災害や感染症発生時に適切な情報をもとに冷静沈着に対応できるように正しい知識を身につけるとともに法人間での連携体制の強化に努める。 3. 定期会議で情報を共有し、担当ケース外の把握に努める。 4. 非対面でも多職種との連携や情報共有の機会が持てるようにICTの活用方法を学ぶとともにオンライン研修にも参加する

令和3年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>感染症予防対策として、書面や通信機器を使用しながら適切な情報収集を行い、各職員に周知し、取り組んでいることは、利用者や家族にとって、住み慣れた自宅での安定した生活だけでなく、多職種との連携強化につながった。</p> <p>事例検討会については、準備時間をとられない方法を考案し、気軽に事例検討が行える手法で検討機会を増やしていることで、介護支援専門員1人ひとりのアセスメントの視点が養われ、ケアマネジメント能力と質の向上につながっている。また、オンライン研修にて、受講する機会も増えたこともケアマネジメントに必要とされるアセスメント力、分析力、課題解決力などのスキルアップにつながっている。</p> <p>あわせて、毎週開催している定期会議にて、利用者に関する情報共有を図り、担当者が不在時でも円滑な対応ができる体制作りを図っている。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>プラン件数については、一時的に人員配置から受け持つことできる割合の98%まで延びたものの、下半期には、施設入所や入院などが相次いだことで、93%まで下がった。</p> <p>引き続き丁寧な支援を心がけながら医療機関や各行政機関との連携を強化し、信頼関係の構築を図ることで件数の増加に努めていきたい。</p> <p>3年度も感染症への対応に戸惑い、悩みながらの居宅サービスの調整や相談支援であったが、事業所内での連携や相談体制は確立しているため、4年度も利用者一人ひとりに応じた丁寧なケアマネジメントができるように意識し、取り組んでいきたい。また、個人ファイルの綴じ方や記録方法の統一など、より情報共有や共通認識が図りやすい環境を整え、業務継続計画につながる取り組みを確立していきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 1.71》

令和4年3月31日 現在

	人 数	割 合
要支援 1	16	9%
要支援 2	18	10%
予 防 計	34	19%
要介護 1	68	36%
要介護 2	46	24%
要介護 3	21	11%
要介護 4	10	5%
要介護 5	9	5%
介 護 計	154	81%
合 計	188	100%

新規契約者数

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	3	2	7	2	37	2	5	3	3	1	3	2	70

利用者数

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1・2	22	24	26	25	31	29	32	36	35	38	37	34	369
プラン数	136	131	132	135	163	167	161	161	161	160	155	154	1,816
合 計	158	155	158	160	194	196	193	197	196	198	192	188	2,185

要介護認定調査数

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居 宅	0	3	2	2	0	4	2	3	2	1	2	1	22
特 養	0	0	0	2	0	1	0	3	0	4	0	2	12
合 計	0	3	2	4	0	5	2	6	2	5	2	3	34

職員間の内部研修の実施状況 (令和3年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・倫理・法令遵守・個人情報保護について	介護支援専門員	39名	4月1日	施設長
身体拘束・虐待防止	身体拘束とは、虐待防止への取り組みについて ※コロナ感染予防のため資料配布	介護支援専門員	66名	5月3日	介護支援専門員
心肺蘇生について	JRC蘇生ガイドライン2020について ※コロナ感染予防のため資料配布	介護支援専門員	58名	5月20日	医務室
食中毒について	食中毒の原因と対策について ※コロナ感染予防のため資料配布	介護支援専門員	81名	6月21日	管理栄養士
口腔ケアについて	口腔ケア方法、義歯の取り扱いについて	介護支援専門員	45名	7月9・29日	歯科医師
高齢者に多い疾病と褥瘡	高血圧・糖尿病・脳梗塞・便秘・イレウス・脱水・下痢・褥瘡・服薬の留意点について ※コロナ感染予防のため資料配布	介護支援専門員	66名	8月19日	医務室
感染症について	感染予防への取り組みについて ※コロナ感染予防のため資料配布	介護支援専門員	43名	11月24～30日 (4回)	感染委員会
終末期ケアについて	看取りとは、本人の意思決定、多職種連携、緩和ケアについて	介護支援専門員	43名	12月23～29日 (3回)	医務室
リスク管理	一年間の事故報告書集計、事故の種類と傾向、事故報告書について ※コロナ感染予防のため資料配布	介護支援専門員	81名	3月31日	生活相談員

参加人数は併設事業所も含む。

職員の法人内部研修の実施状況 (令和3年度実績なし)

職員の外部研修の受講状況 (令和3年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
2法人合同研修	後見人制度について	介護支援専門員	3名	6月30日	1日	オンライン研修	口頭・復命
認知症疾患医療センター研修会	認知症診断で用いられる心理検査について	介護支援専門員	3名	7月9日	1日	オンライン研修	口頭・復命
第1回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジ メント研修	ケアマネジャーが医師と情報共有できるための方法 について	介護支援専門員	1名	7月21日	1日	オンライン研修	口頭・復命
ケアマネジメント向上会議	食欲がない、筋力低下予防への取り組みが必要な利 用者支援について	介護支援専門員	2名	8月11日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第2回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジ メント研修	アセスメント力を高めるための基礎知識について	介護支援専門員	2名	8月24日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命
姫路市在宅医療・介護連携支援センター研修会	アルコール依存、脳血管疾患のある利用者について	介護支援専門員	4名	8月25日	1日	オンライン研修	口頭・復命
第2回網干ブロック包括的、継続的ケアマネジ メント研修	事例検討からのインフォーマルサービスの活用方法 について	介護支援専門員	2名	9月27日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命
認知症疾患医療センター研修会	認知症者の摂食障害と口腔ケアについて	介護支援専門員	3名	10月12日	1日	オンライン研修	口頭・復命
姫路市在宅医療・介護連携支援センター研修会	慢性心不全について	介護支援専門員	5名	10月27日	1日	オンライン研修	口頭・復命
ケアマネジメント向上会議	認知症疾患の方の支援について	介護支援専門員	5名	10月28日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第3回網干ブロック包括的、継続的ケアマネジ メント研修	低栄養から学ぶ気づきの視点について	介護支援専門員	2名	11月16日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ	リハビリテーション及び福祉用具の活用について	介護支援専門員	1名	11月19日	1日	兵庫県社会福祉人材センター	口頭・復命
姫路市在宅医療・介護連携支援センター研修会	介護医療院について	介護支援専門員	5名	11月18日	1日	オンライン研修	口頭・復命
第3回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジ メント研修	栄養と口腔について	介護支援専門員	2名	11月30日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命
障害者支援研修会	自立生活訓練センターについて	介護支援専門員	2名	12月24日	1日	オンライン研修	口頭・復命
認知症疾患医療センター研修会	地域包括支援センターと医療機関の連携について	介護支援専門員	2名	1月14日	1日	オンライン研修	口頭・復命
介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ	看取りにおける看護サービス活用、認知症、入退院 時における医療連携について	介護支援専門員	1名	1月13日	2日	兵庫県社会福祉人材センター	口頭・復命
姫路市在宅医療・介護連携支援センター研修会	障害者の介護保険移行支援について	介護支援専門員	5名	1月21日	1日	オンライン研修	口頭・復命
第4回網干ブロック包括的、継続的ケアマネジ メント研修	認知症利用者、家族への関わり方について	介護支援専門員	3名	3月14日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命
介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ	家族支援、社会資源の活用に向けた関係機関との連 携、状態に応じた多様なサービスの活用について	介護支援専門員	1名	3月16日	2日	兵庫県社会福祉人材センター	口頭・復命
第5回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジ メント研修	認知症対応の考え方について	介護支援専門員	1名	3月22日	1日	姫路市網干市民センター	口頭・復命

苦情対応
苦情対応なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和3年 5月4日	「介護保険給付管理ミス」 介護保険改定による介護ソフトのシステムエラーにて、4名の誤算が生じ、区分支給限度額基準を超えたサービス調整となった。	①介護保険改定時には、見解の相違のないように姫路市介護保険課と綿密に連絡を取り、共通認識を図る。 ②ソフト会社とも見解の相違のないように綿密に連絡を取り、修正等を依頼し、システムの修正状況を確認する。 ③印刷した帳票の数字を計算機で確認する。 ④請求計算時にも資料をもとに複数人で再確認を行ってから国保連に請求する。
令和3年 6月23日	「給付管理ミス」 5月4日の介護保険給付管理ミスに係る自己負担額の返金額に関して1円の誤差があり、返金した。	①ソフト会社と綿密に連絡を取り、修正等を依頼し、システムの修正状況を確認する。 ②印刷した帳票の数字を計算機で確認する。 ③複数人で再確認を行ってから返金する。
令和3年 10月7日	「訪問日時 の 失念」 1ヶ月前の訪問時に約束していた訪問日をカレンダーへの記入を忘れ、失念し、利用者からの問い合わせがある。	①メモを取り、帰社後にすぐにカレンダーに記入する。 ②訪問前日に確認し、利用者にも予定の変更がないか、確認する。 ③不安な場合は、他職員に訪問日時の言葉かけを依頼する。